

第三十一回 矢沢 宰 賞 創 作 詩 募 集

や さわ おさむ

皆さんふるって応募してください！

矢沢宰記念事業実行委員会

自分の心に問いかけてみませんか。あなたのすばらしい感性を見つけて出してください。

だれにもまねのできない、あなただけの心のつぶやき、心のかかり、それをあなたの言葉で詩に書いてみませんか。

矢沢宰は昭和四十一年、わずか二十一才で亡くなりました。

長い間、病苦とたたかい、死と直面しながら、だれにもわかるやさしい言葉で、生命力にあふれた詩を書きました。小学校を終わったばかりのころから中学・高校にかけてでした。

矢沢宰記念事業実行委員会では、皆さんから詩を書くことに親しんでもらうため、生誕五十年を記念して、矢沢宰賞を設けました。以来、今回で三十一回を数えます。

優秀作品には矢沢宰賞・記念レリーフ等を贈り、矢沢宰の精神の力強さ、優しさを永く伝えていきたいと願っています。

皆さん、ふるって応募してください。



やざわ おさむ
第31回 矢沢 宰 賞 創作詩募集要項

1. 趣 旨

新潟県見附市が生んだ詩人・矢沢宰（1944 - 1966）。彼は21年の生涯のほとんどを死の影を負った病苦と闘いながら、上北谷小学校、三条養護学校中学部、そして栃尾高校に学び、多くの優れた詩を遺した。その作品と生涯をたたえ、彼の詩業を永く継承するとともに、広く青少年の詩心を高め、詩を発表する機会を提供するため矢沢宰賞を設けた。

2. 募集作品

400字詰め原稿用紙2枚以内の日本語による詩とし、題は自由とする。

3. 応募資格

全国の特別支援学校、小学校、中学校、高校の児童・生徒及び18才以下の青少年を対象とする。

4. 矢沢宰賞選考

選考者 八木 忠栄（詩人、元日本現代詩人会会長、新潟日報読者文芸「詩」選考者、見附市出身）

5. 授 賞

- (1) 最も優れた作品を矢沢宰賞最優秀賞（1編）、それに準ずる作品を矢沢宰賞奨励賞（5編）、入選（40編程度）とする。
- (2) 特別支援学校・小学校・中学校・高校の児童・生徒の受賞作品は学校を通じ、青少年は本人に通知し、表彰式当日発行のパンフレット等に発表する。
- (3) 賞は、賞状及び記念品とする。

6. 応募上の注意・締切り・あて先等

- (1) 応募原稿は400字詰め原稿用紙を使い、タイプ、ワープロ、手書き、点字などいずれでもよい。常用漢字以外や読みにくい漢字には振り仮名をつける。なるべくA4版を使用する。
- (2) 応募原稿用紙の余白等に次の事項を記入し、複数原稿のときは一緒にとじるか附番して提出する。（E-mail可）
 - ◇ 特別支援学校・小学校・中学校・高校生は、①氏名、②学校名、③学年、④学校住所、⑤郵便番号、⑥電話番号、⑦担当教諭名、⑧学校E-mailアドレス（④～⑧は応募校毎の記載も可）
 - ◇ 青少年は、①氏名、②年齢、③自宅住所、④郵便番号、⑤電話番号、⑥E-mailアドレス
- (3) 応募者氏名は匿名、ペンネーム不可。受賞者名は、原則公表する。
- (4) 特別支援学校・小学校・中学校・高校の児童・生徒の応募は、なるべく学校単位で取りまとめる。
- (5) 応募は一人一編とし、未発表の作品（受賞決定時に再度確認します）とする。
- (6) 応募原稿は返却しない。
- (7) 応募締切り 令和6年9月13日（金）消印有効
- (8) あて先・問い合わせ先

〒954-0052 見附市学校町1-16-15 ネーブルみつけ内 矢沢宰賞係

TEL: 0258-62-7801 FAX: 0258-62-7810

E-mail: yazawaosamu0507@gmail.com

※表彰式を令和6年11月24日（日）に予定（詳細は別途案内）しています。

主 催 矢沢宰記念事業実行委員会 (<https://yazawaosamu.com>)

後 援 申請準備中

（文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国特別支援学校長会他）